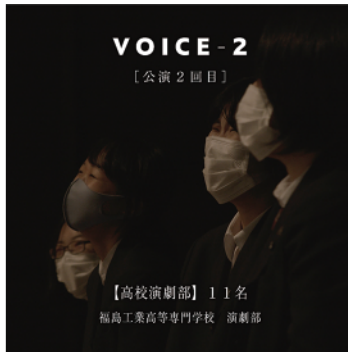


2020年11月3日文化の日に「いわきアリオス」（福島県いわき市）で行った「Your Theater ～あなたのための貸し切り劇場～」1日6回公演。申し込みをしてくれた観客へ、そして会場となる劇場へインタビューを実施しました。その模様をまとめた劇場ドキュメンタリー映画を上映します。



**カトヨセヒロシ**：Katayose Hiroshi [監督・ロクディム共同主宰]

ぼくは1997年に即興の芝居（インプロ）に出会い、まだ日本では知られていなかった即興演劇を公演として成立させるための試行錯誤を繰り返してきました。現在は「この瞬間を一緒に笑おう」を合言葉に即興の芝居 × コメディパフォーマンスをする男6人組グループ「ロクディム」の共同主宰をし、これまで全国27都府県で活動をおこなっています。また、多くの人に即興の楽しさを知ってもらうため、テレビなどのメディア出演をはじめwebコンテンツ制作などを積極的に行なっています。2021年には、コロナ禍における劇場・観客・表現者をあらためて「繋げ・結ぶ」ことを試みる公演「Your Theater あなたのための貸し切り劇場」に密着した劇場ドキュメンタリーを監督しました。



**鄭慶一**：Chung Kyungilu [フリーランス・プロデューサー／制作]

2012年～2020年3月末まで福岡県北九州市にある民間劇場「枝光本町商店街アイアンシアター」という劇場を運営・ディレクションしていました。商店街の中にある小さな劇場を運営してまして年に1回「枝光まちなか芸術祭」という野外の舞台芸術のお祭りを開催してました。そこでロクディムの皆さまには毎年いらしていただいてまして老若男女誰が来ようとも観客はみな笑いロクディムを好きになって帰る、そんな素敵な現場をたくさん目の当たりにしてきました。劇場も小さく観客も家族

みたいなのでしたからロクディムのように観客に寄り添いそれを貫き通すパフォーマンスは僕にとってはとても美しく見えました。2020年4月から僕はフリーランスの制作として活動し始めましたが時はコロナ禍真っ只中。そんな折にロクディムのいわきアリオスでの挑戦を耳にしました。どうやら「劇場に1組だけの観客」を招いてパフォーマンスを行うようです。誰よりも観客と共に作品を作り上げるロクディムがコロナ禍で出来る最善はどんな形なのか。ロクディム史上前代未聞のチャレンジをひょんなことからお手伝いさせてもらうことになりました。

どうしたらいいをするの？  
即興コメディ集団ロクディム「6-dim+」がコロナ禍の2020年におこなった公演「Your Theater あなたのための貸し切り劇場」に密着した劇場ドキュメンタリーを上映します（約50分）。さらに、劇場ドキュメンタリーの監督・ロクディム共同主宰のカトヨセヒロシと今公演の制作の鄭慶一によるアフタートークをおこないます。それぞれの視点から見た公演の裏話やコロナ禍における文化・芸術の話などから、あらためて「自分の大切なことは何だろうか？」ということを探っていきます。コロナ禍の影響を受けた、劇場と表現者と観客。立場の違う3者がどういったことを考え、感じ、思ったのか？今を生きるヒントのようなのが見えてくる、かもしれませぬ。